

令和4年（2022年）3月29日

大阪狭山市市制施行 35 周年記念 キャッチフレーズとシンボルマークが決まりました

帝塚山学院大学の学生の協力のもとに作成した候補作品を対象に、令和4年2月24日～3月14日に実施した市民投票により、大阪狭山市市制施行 35 周年記念キャッチフレーズおよびシンボルマークを決定し、それらを掛け合わせたロゴマークを作成しました。

今後このロゴマーク等を 35 周年の象徴とし、ウィズコロナ時代に適応した、あらゆる活動のリスタートとしての取り組みを展開していきます。

桜も笑顔も満開な街
大阪狭山市市制施行 35 周年



制作意図

【キャッチフレーズ】

大阪狭山市が誇る自然が織りなす四季折々の内の「新たな始まり」を意味する春を象徴する桜と市民の笑顔が満開であるといった前向きな意味を込めた。

【シンボルマーク】

大阪狭山市の象徴的な桜をイメージし、活動をリスタートしていくということで桜の形をさわやかでスタイリッシュな形に表現した。